

南本牧ふ頭で新たな高機能物流施設が竣工！ 横浜港のロジスティクス機能の更なる強化へ

国際コンテナ戦略港湾である横浜港は、コンテナ貨物需要を創出するロジスティクス機能強化のため、主要コンテナターミナルに近接した利便性の高いエリアへの高機能物流施設の集積に積極的に取り組んでいます。

南本牧ふ頭では、(株)住友倉庫を含む大手物流事業者3社が総延床面積9万㎡超の施設建設を決定しており、1棟は29年11月に稼働開始、1棟は30年9月に着工しています。

そしてこの度、(株)住友倉庫の新たな高機能物流施設が6月14日に竣工いたしました。

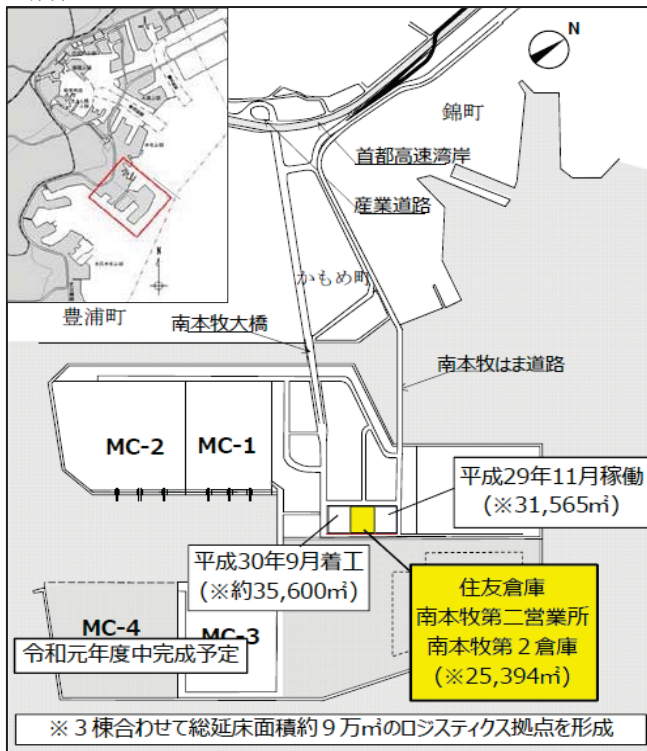
様々な貨物の保管ニーズに対応する定温空調設備等の機能を備えた同施設は、市内や首都圏へのアクセスに優れた好立地を活かし、配送センターとしての利用も期待されます。

また、同施設は流通業務の効率化や二酸化炭素排出量の低減に取り組む予定であることから、物流総合効率化法に基づく「総合効率化計画」の認定を受けています。

南本牧ふ頭では、令和元年度中のMC-4の完成により、国際競争力強化との相乗効果が図られ、ロジスティクス機能の更なる強化が推し進められます。

なお、同日付で(株)住友倉庫も記者発表していますので、参考として添付します。

■所在地



■外観



■住友倉庫 南本牧第二営業所南本牧第2倉庫

(1) 施設概要

所在地：横浜市中区南本牧3番19
敷地面積：10,500㎡
延床面積：25,394㎡
構造：鉄骨造5階建

(2) 主な機能

- ・多様な温度管理機能
- ・2面のトラック・コンテナ接車バース
- ・トラック予約システム など

※ロジスティクス機能

在庫の適正化や経費削減による業務の効率化及び顧客満足度の向上を目指し、物資の調達・保管・加工・流通等の流れを一元的に管理する機能。

※物流総合効率化法に基づく「総合効率化計画」の認定

物流総合効率化法に基づき、2者以上が連携して流通業務の統合化（輸送、保管、荷捌き及び流通加工）と効率化（輸送網の集約等の輸送の合理化）を図る事業に対し、運輸局等が「総合効率化計画」を認定。認定を受けた事業は、一定の要件のもと物流拠点施設に関する国税・地方税の特例措置等を受けることができる。

お問合せ先

港湾局物流運営課担当課長 永田 実 Tel 045-671-2873

2019年6月18日

各 位

会 社 名 株式会社 住 友 倉 庫
代表者名 社 長 小 野 孝 則
(コード番号 9303 東証第1部)
問合せ先 業務部長 大 田 晃 正
(TEL. 06-6444-1190)

南本牧埠頭における新倉庫稼働のお知らせ

このたび、横浜市の南本牧埠頭において建設を進めていた倉庫が竣工、稼働しましたのでお知らせします。

南本牧埠頭は、東名高速道路及び首都高速湾岸線に接続する臨港道路（南本牧はま道路）が整備されたことにより、今後ますます物流利便性の向上が見込まれます。新倉庫は、南本牧埠頭コンテナターミナルに隣接し、輸出入貨物の取扱いに最適な立地であるとともに、横浜市街地及び首都圏へのアクセスにも優れており、配送センターとしてもご利用いただけます。

新倉庫には定温空調設備を備え、さまざまな保管ニーズに対応しています。また、1階に2面のトラック・コンテナ接車バースを備えており、貨物の円滑な搬入出により物流品質向上及び物流効率化を実現します。さらに物流総合効率化法に定める「総合効率化計画」の認定を受けており、物流の集約による効率化及び二酸化炭素の排出量削減を図ってまいります。

当社グループでは、引き続き国内物流事業の基盤強化を進め、お客様に最適な物流サービスを提供してまいります。

【施設の概要】

| | |
|------|---------------------|
| 名 称 | 南本牧第二営業所 南本牧第2倉庫 |
| 住 所 | 横浜市中区南本牧3番19 |
| 敷地面積 | 10,500㎡ (3,176坪) |
| 構 造 | 鉄骨造5階建 |
| 延床面積 | 25,394㎡ (7,682坪) |

【外観】



以 上